

追加的なコミュニケーション活動内容(案)

追加的なコミュニケーション活動内容(案)

1. 目的

これまでのコミュニケーション活動の結果から何らかの対策が必要であり、中でも全体的な意見では、「災害時の代替路確保」などの観点からの意見が顕著であり、案①、案②が有効と考えられる。

一方で「環境・景観の保全」への意見も多く頂いていることを踏まえ、追加的なコミュニケーション活動を行う。

2. メンバー

・ 地元9市町村の首長代表

→長野県及び山梨県内の沿線市町村数と整備延長等を勘案。

・ 各団体の代表

→意見を頂いている団体等から公募。

・ 地元9市町村の住民代表

→参加希望者から公募による抽選。

3. 内容

- ・ 計画段階評価の概要及びこれまでの経緯とコミュニケーション活動の結果を説明。
- ・ 中間とりまとめ（案①、案②が有効）を前提とし、対策案と今後進める上での配慮事項等について意見を頂く。

4. コーディネーター（進行役）

行政ではなく、第三者の立場から進行役を努められる者。